

令和元年度 現地検討会等実施状況

(間伐推進・作業道)

6

国有林	62
自治体	38
森林所有者	14
事業体	58
研究機関	4
その他	25
合計	201

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
森林作業道技術研修会	7月18日	網走西部森林管理署西紋別支署	《室内研修》 滝上町（網走西部森林管理署西紋別支署会議室） 《現地説明》 紋別市（国有林）	国有林 10 名	森林作業道の作設技術の普及・定着を図るため	森林作業道を作設するに当たり留意する点、線形の変更が必要な場合の手続き、優良事例の紹介等を行った後、生産事業の実行箇所に移動し作設作業について、説明及び事業者による作業の実演を行った。 現地説明では、「初回伐採時に丈夫で効率的に作業のできる線形とすることが重要」等の説明を行った。 今後も実演を行う事業体を変えて同様の研修会を実施する予定である。	
				自治体 0 名			
				森林所有者 0 名			
				事業体 11 名			
				研究機関 0 名			
				その他 0 名			
				合計 21 名			
列状間伐及び末木枝条の有効利用に係る現地検討会	8月27日	十勝西部森林管理署	広尾町（国有林）	国有林 19 名	効率的で安全性の高い森林施業として列状間伐の民有林での導入を推進するとともに、列状間伐等に伴って発生する末木枝条を活用した木質バイオマス原料の安定供給に資するための取組について民有林関係者に理解を深めてもらうため	列状間伐の特徴（優れた点・留意する点）、木質バイオマスエネルギーの利用状況について説明を行った。実施事業体からは効率的な末木枝条の収集・運搬の今後の展開に向けた課題等の説明と一連の作業等のデモンストレーションをしていただいた。それらをふまえて質疑応答・意見交換を行った。	
				自治体 4 名			
				森林所有者 名			
				事業体 12 名			
				研究機関 名			
				その他 6 名			
				合計 41 名			
日高町（旧日高町地区）森林整備見学会	9月3日	日高振興局森林室平取事務所 日高北部森林管理署	日高町（私有林・国有林）	国有林 4 名	地域課題である搬出間伐の推進に向け、効率的で安全性の高い列状間伐の普及を図るため	間伐実行予定の民有林において森林室平取事務所より現地の概要の説明を受け、その後ドローンによる空撮を行い伐採方法、搬出方法等の検討・意見交換を行った。 国有林では、今年度実行の間伐箇所及びH28台風被害に伴う治山事業箇所を見学。間伐箇所においては、署より事業内容等について説明し、意見交換を行った。参加者からは「広葉樹の取り扱い」「森林作業道の作設」などについて質問・意見が出され、次年度以降の見学会継続を要望する意見も出された。	
				自治体 5 名			
				森林所有者 6 名			
				事業体 1 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 16 名			

森林作業道作設の実演

デモンストレーションを見学しての
質問・意見交換の様

現地において意見交換

令和元年度 現地検討会等実施状況

(間伐推進・作業道)

積丹地域森林整備推進協定事業実行に伴う現地検討会	10月3日	石狩森林管理署 森林整備センター札幌水源林整備事務所 積丹町	積丹町（国有林、町有林、分収造林地（町と整備センター札幌水源林整備事務所））	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>14名</td></tr> <tr><td>自治体</td><td>9名</td></tr> <tr><td>森林所有者</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>8名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>4名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>10名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>45名</td></tr> </table>	国有林	14名	自治体	9名	森林所有者	名	事業体	8名	研究機関	4名	その他	10名	合計	45名	令和2年度の民有林・国有林の伐採箇所を一体的施業とし、事業ロット拡大による作業コスト縮減、協調出荷による有利販売の効果で搬出間伐を拡大するため	積丹町有林（J Tの森積丹）、森林整備センター札幌水源林整備事務所の分収造林地の間伐予定地の間伐方法、集材方法、積丹国有林の主伐箇所の伐採方法等、共同土場（ストックヤード）整備状況、搬出方法等の説明を行った。各箇所での意見交換では「伐採する列はどのように考えているのか」「伐採後の末木枝条の扱いはどうするのか」など伐採に伴った質問や意見を頂いた。令和2年度に民国一体的施業の事例として事業展開する予定としている。	 <p>積丹町有林（J Tの森積丹）にて石狩署久慈森林技術指導官より林分状況を説明</p>
国有林	14名																				
自治体	9名																				
森林所有者	名																				
事業体	8名																				
研究機関	4名																				
その他	10名																				
合計	45名																				
作業路網を考える	10月8日	網走中部森林管理署 オホーツク総合振興局東部森林室	置戸町（置戸町中央公民館、国有林133林班ち小班）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>8名</td></tr> <tr><td>自治体</td><td>2名</td></tr> <tr><td>森林所有者</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>2名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>6名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>18名</td></tr> </table>	国有林	8名	自治体	2名	森林所有者	名	事業体	2名	研究機関	名	その他	6名	合計	18名	林業機械を有効活用するには路網配置と整備が重要であるため、路網配置の考え方と留意点について基本的な内容を学んでもらうことを目的とした。	署から林業の機械化と路網整備の必要性とオホーツク地域の現状等について森林室から施業方法の見直しや作業システムの内容について説明を行った。その後事業完了箇所において路網を作成する演習を行い、実際の事業内容と比較して検証した。	 <p>演習で作成した路網整備図と実際の事業内容との比較検証</p>
国有林	8名																				
自治体	2名																				
森林所有者	名																				
事業体	2名																				
研究機関	名																				
その他	6名																				
合計	18名																				
森林施業技術研修会	11月13日	日高振興局森林室 北海道森林組合連合会 (一社)北海道造林協会日高支部	日高町門別公民館 平取町（民有林）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>7名</td></tr> <tr><td>自治体</td><td>18名</td></tr> <tr><td>森林所有者</td><td>8名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>24名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>3名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>60名</td></tr> </table>	国有林	7名	自治体	18名	森林所有者	8名	事業体	24名	研究機関	名	その他	3名	合計	60名	列状間伐の導入による効率的な搬出間伐を推進し、日高管内の一般民有林における森林資源の循環利用につなげるため	座学研修においては、列状・搬出間伐の実事例によりその効果と利点等、カラマツ大径材生産について森林室より説明、意見交換を行った。その後、今年度列状・搬出間伐を実行した民有林において意見交換を行った。出席者からは「列状間伐で行ったメリット」「林地未利用材の集積・搬出方法」などについて質問が出された。	 <p>間伐実行箇所にて意見交換</p>
国有林	7名																				
自治体	18名																				
森林所有者	8名																				
事業体	24名																				
研究機関	名																				
その他	3名																				
合計	60名																				